

障害者作業所の利用者とスペイン・バルセロナ在住の画家フランシスコ・ボッシュさん(63)、ピラー・テルさん(62)夫妻の絵画を並べた「熊本カクノスキ展」が23日、熊本市中央区水前寺のユースピア熊本で始まった。25日まで。

県内の68障害者作業所がつくる「きょうされん熊本支部」などで構成する実行委が初めて開いた。県内外の利用者の力作110点を展示。きょうされんの全国組織が来年のカレンダーに採用し

作業所利用障害者

×

スペイン在住画家

熊本市で合同絵画展

た平島浩美さん(39)＝同市北区＝の作品「6月梅雨の散歩道」も。

ボッシュさんら夫妻は、日本でチャリティー絵画展をたびたび開いており、実行委が参加を呼び掛けた。夫妻は油彩、パステル画など3～30号の50点を出展。売り上げの一部を東日本大震災、九州北部豪雨災害の被災者支援金に充てる。

利用者と夫妻が一緒に描いた作品も展示している。実行委・浜田さん☎080(1765)0956。(東寛明)



障害者作業所利用者とフランシスコ・ボッシュさん(左から5番目)、ピラー・テルさん(同6番目)夫妻が交流会で一緒に描いた絵